

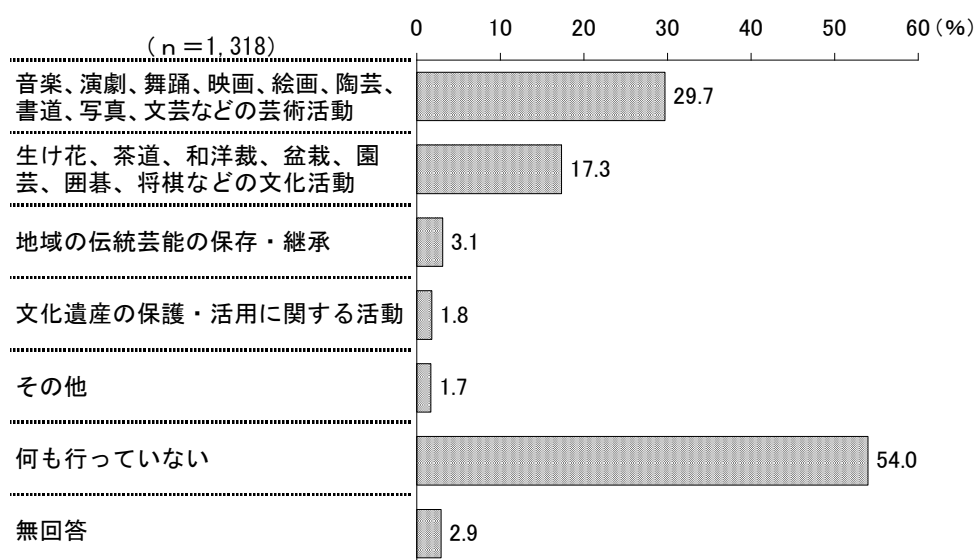
3 日常生活について

(1) 芸術・文化活動について

問6 あなたが日ごろ行っている芸術・文化活動は、どのようなものですか。
次の中からいくつでも選んでください。

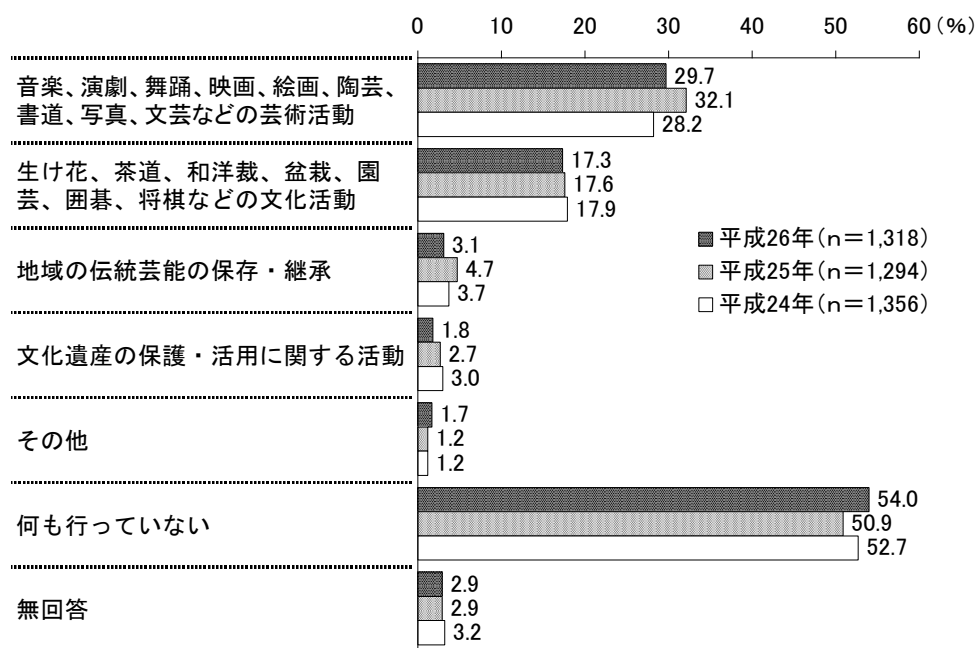
[n=1,318]

1	音楽、演劇、舞踊、映画、絵画、陶芸、書道、写真、文芸などの芸術活動	29.7%
2	生け花、茶道、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動	17.3
3	地域の伝統芸能の保存・継承	3.1
4	文化遺産の保護・活用に関する活動	1.8
5	その他	1.7
6	何も行っていない (無回答)	54.0 2.9



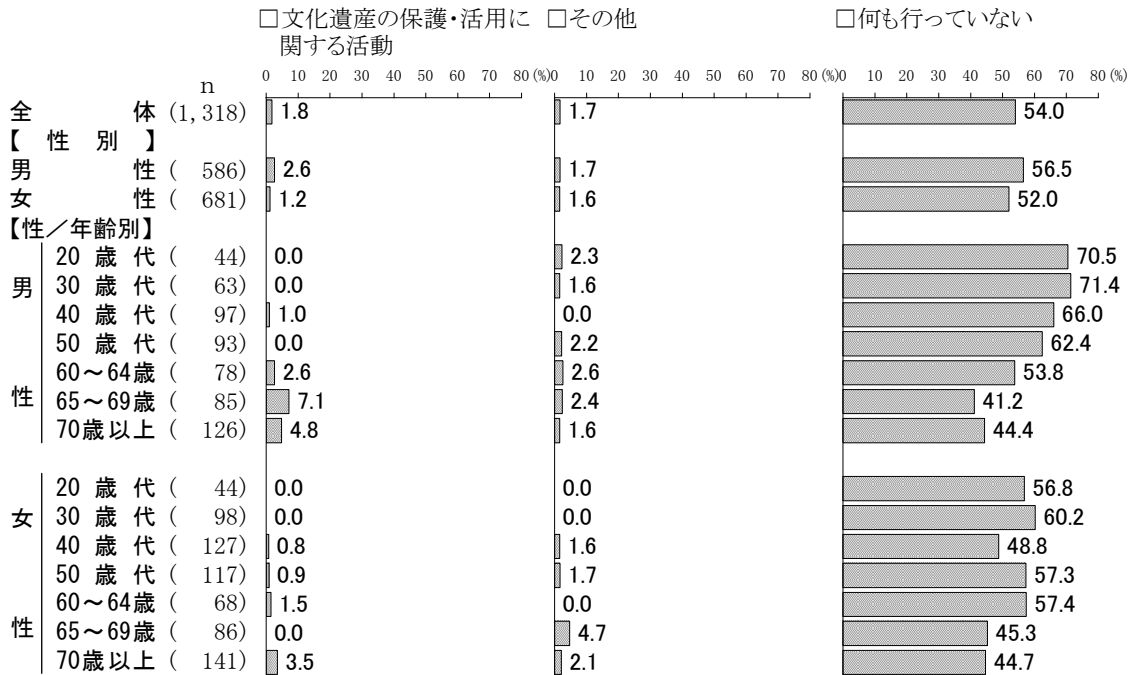
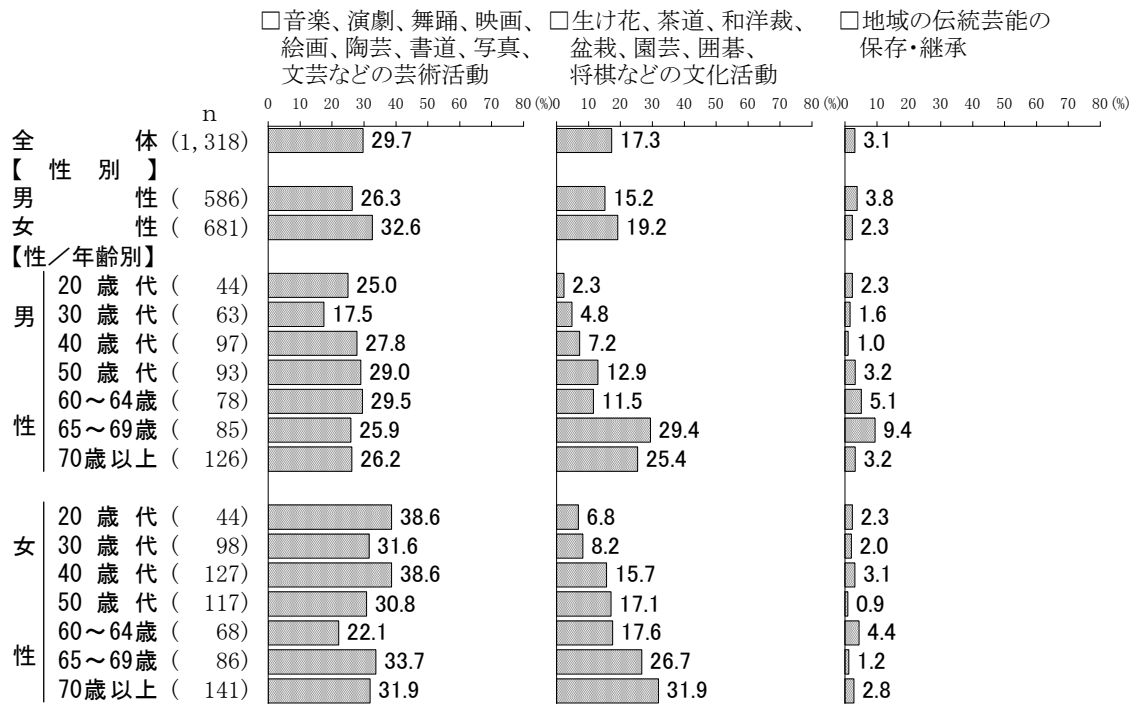
全体で見ると、「音楽、演劇、舞踊、映画、絵画、陶芸、書道、写真、文芸などの芸術活動（以下『芸術活動』という。）」(29.7%) が3割で最も高く、次いで「生け花、茶道、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動（以下『文化活動』という。）」(17.3%) が2割近くとなっている。一方、「何も行っていない」(54.0%) は5割半ばとなっている。

[過去の調査結果]



過去の調査結果と比較すると、『芸術活動』が前回（平成25年）より2.4ポイント減少している。一方、「何も行っていない」が前回（平成25年）より3.1ポイント増加している。

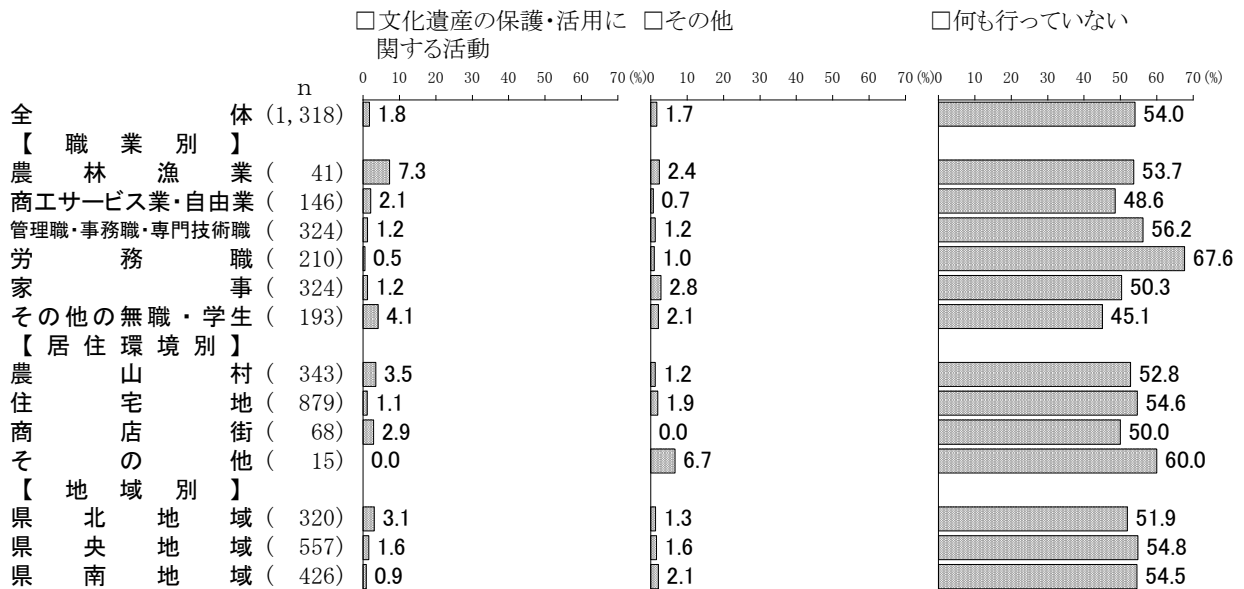
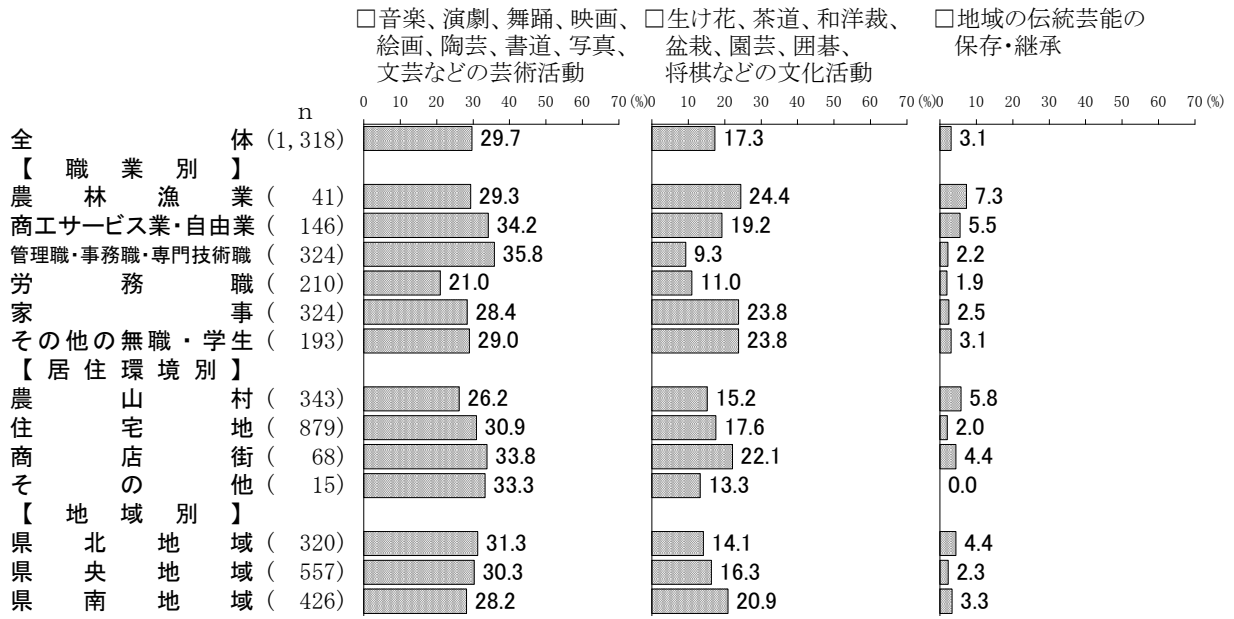
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、『芸術活動』では〈女性〉(32.6%)が〈男性〉(26.3%)より6.3ポイント高く、『文化活動』では〈女性〉(19.2%)が〈男性〉(15.2%)より4.0ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『文化活動』では、女性は高い年代ほど割合が高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、『芸術活動』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が35.8%、〈商工サービス業・自由業〉が34.2%と高くなっている。『文化活動』では〈農林漁業〉が24.4%、〈家事〉と〈その他の無職・学生〉がともに23.8%と高くなっている。

居住環境別でみると、『芸術活動』では〈商店街〉が33.8%と高く、『文化活動』でも〈商店街〉が22.1%と高くなっている。

地域別でみると、『文化活動』では〈県南地域〉が20.9%と高くなっている。

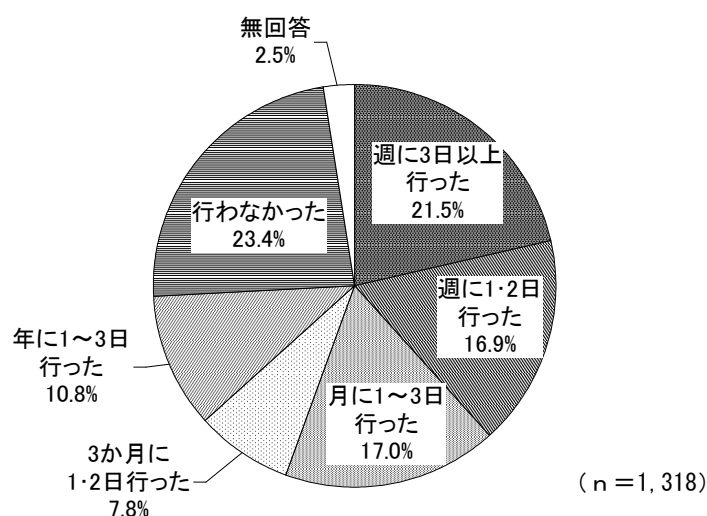
(2) スポーツ活動について

問7 あなたは、この1年間にスポーツ(※)を行いましたか。次の中から1つ選んでください。

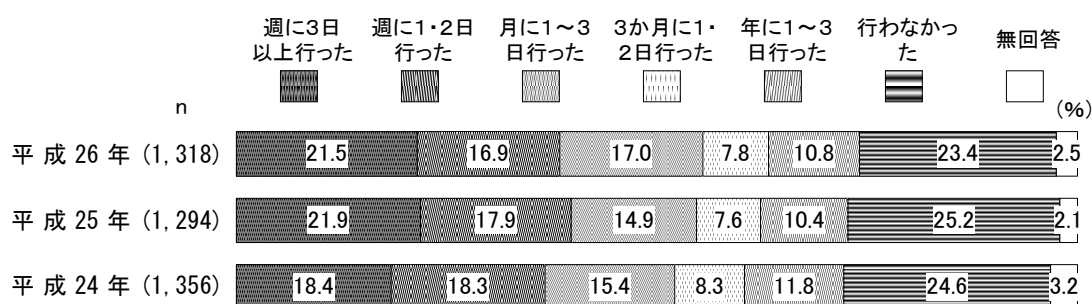
※ スポーツとは、ウォーキング、散歩、ダンス、ボウリング、ハイキング・キャンプなどのアウトドアスポーツ、軽い体操、レクリエーションスポーツを含みます。

[n=1,318]

1	週に3日以上行った	21.5%	4	3か月に1・2日行った	7.8%
2	週に1・2日行った	16.9%	5	年に1～3日行った	10.8%
3	月に1～3日行った	17.0%	6	行わなかった	23.4%
				(無回答)	2.5%

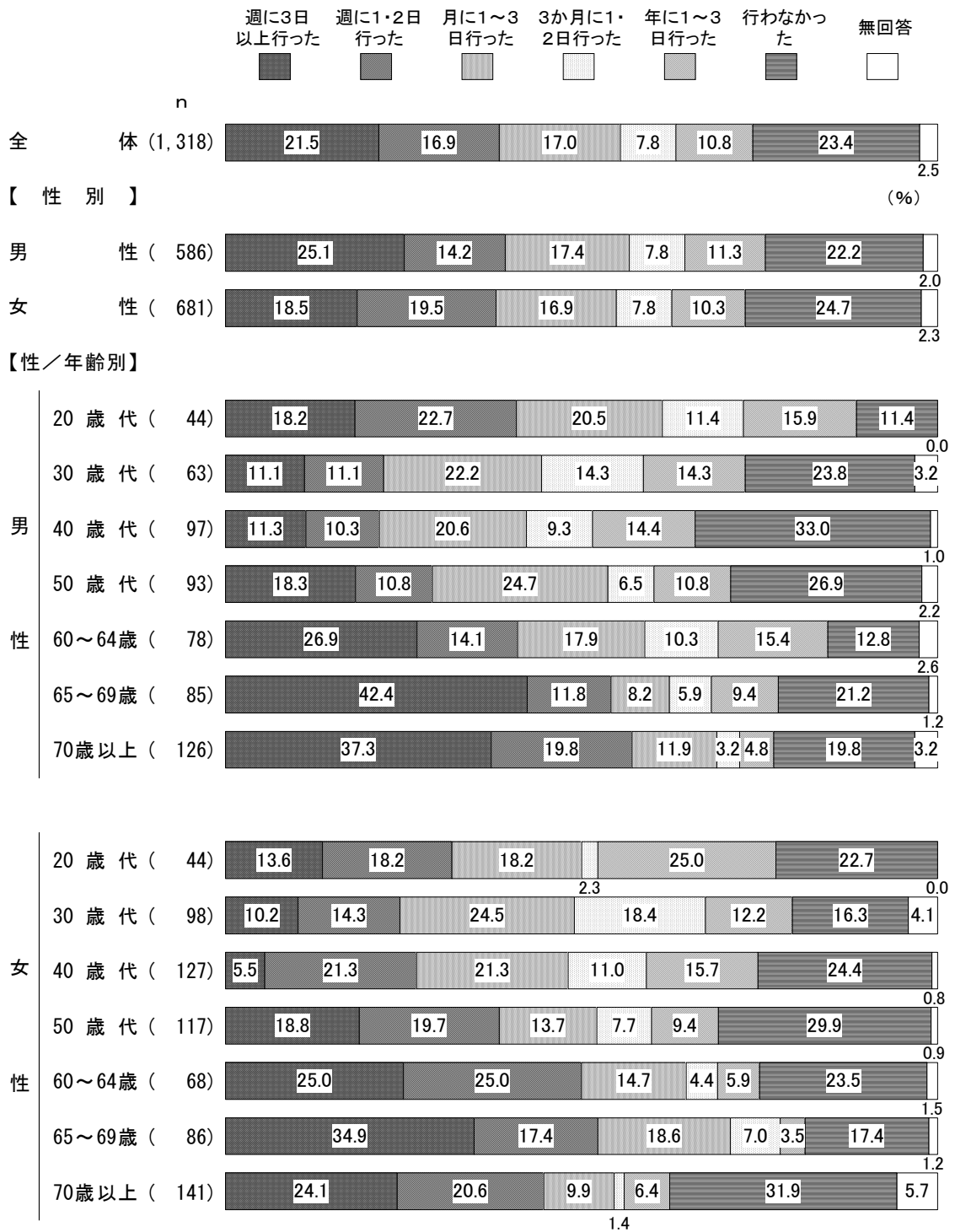


全体で見ると、「週に3日以上行った」(21.5%)は2割を超えている。「週に1・2日行った」(16.9%)と「月に1～3日行った」(17.0%)はともに2割近くとなっている。一方、「行わなかった」(23.4%)は2割を超えている。



過去の調査結果と比較すると、「月に1～3日行った」が前回(平成25年)より2.1ポイント増加している。

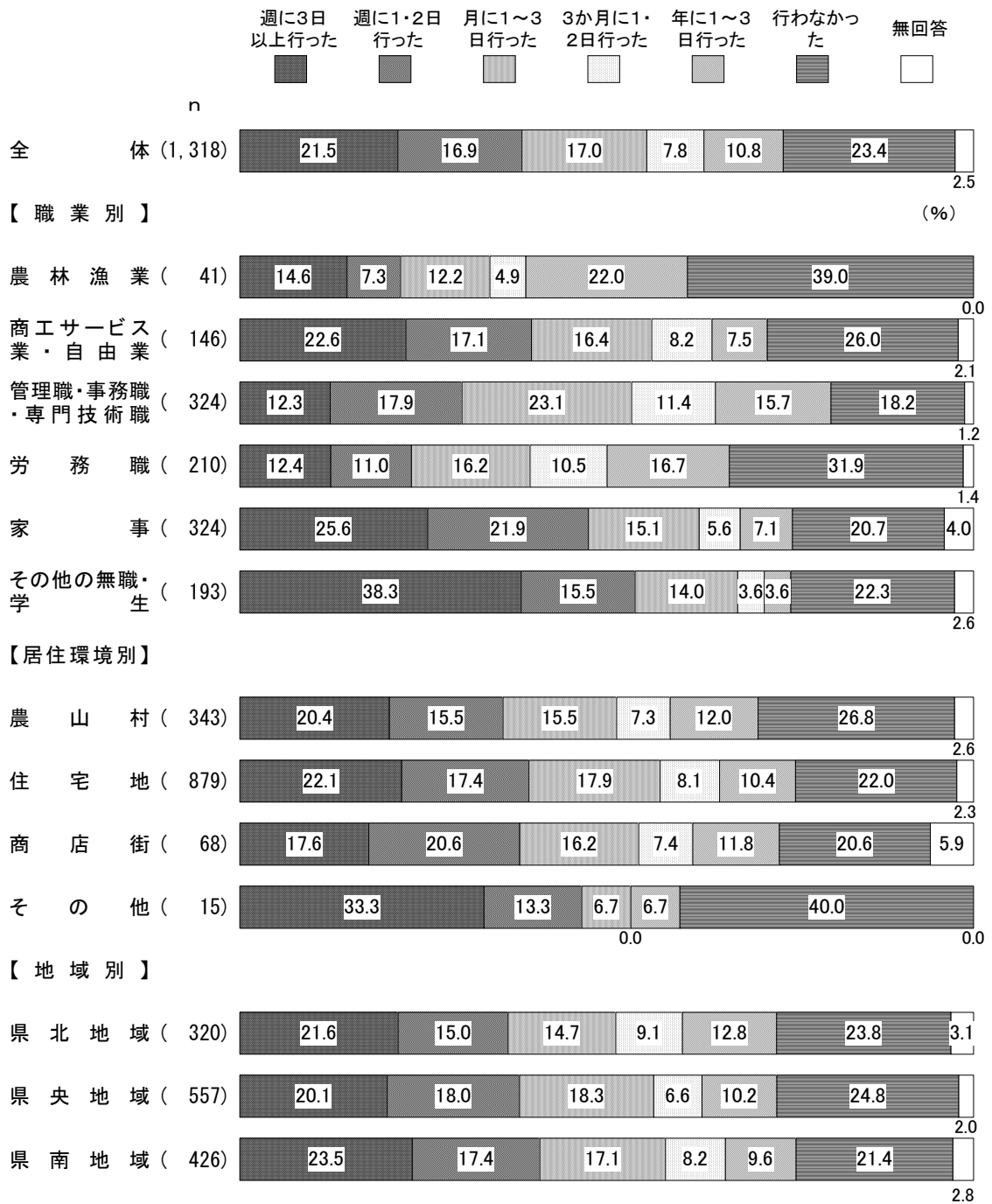
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「週に3日以上行った」では〈男性〉(25.1%)が〈女性〉(18.5%)より6.6ポイント高くなっている。「行わなかった」では〈女性〉(24.7%)が〈男性〉(22.2%)より2.5ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「週に3日以上行った」では〈男性65~69歳〉が42.4%、〈男性70歳以上〉が37.3%と高くなっている。「行わなかった」では〈男性40歳代〉が33.0%、〈女性70歳以上〉が31.9%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、「週に3日以上行った」では〈その他の無職・学生〉が38.3%と高くなっている。「行かなかった」では〈農林漁業〉が39.0%、〈労務職〉が31.9%と高くなっている。

居住環境別でみると、「行かなかった」では〈農山村〉が26.8%と高くなっている。

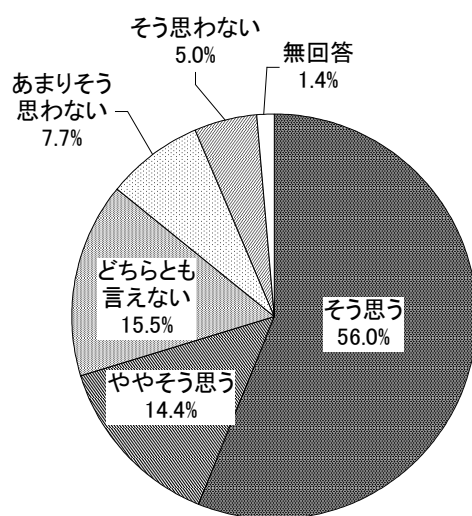
地域別でみると、「週に3日以上行った」では〈県南地域〉が23.5%と高くなっている。

(3) 住んでいる地域について

問8 あなたは、住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思いますか。
次の中から1つ選んでください。

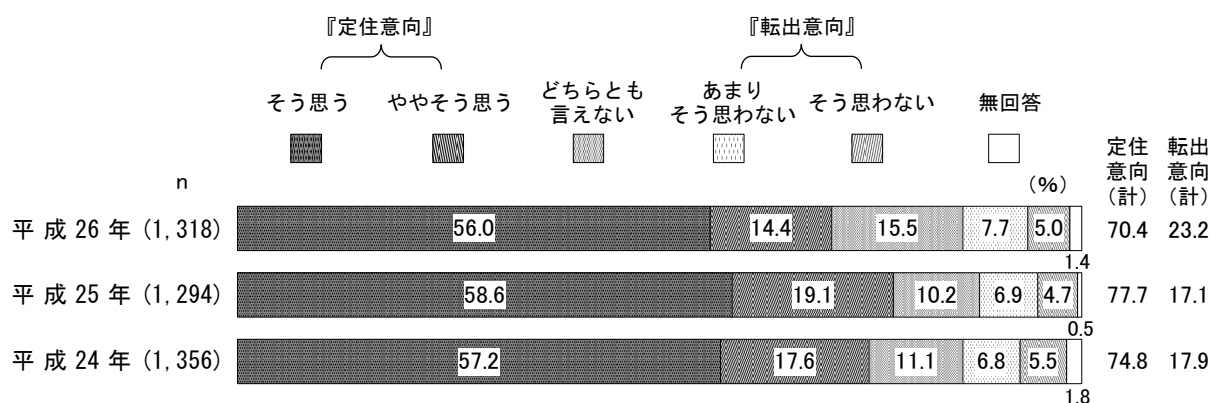
[n=1,318]

1	そう思う	56.0%	4	そう思わない	5.0%
2	ややそう思う	14.4	5	どちらとも言えない	15.5
3	あまりそう思わない	7.7		(無回答)	1.4



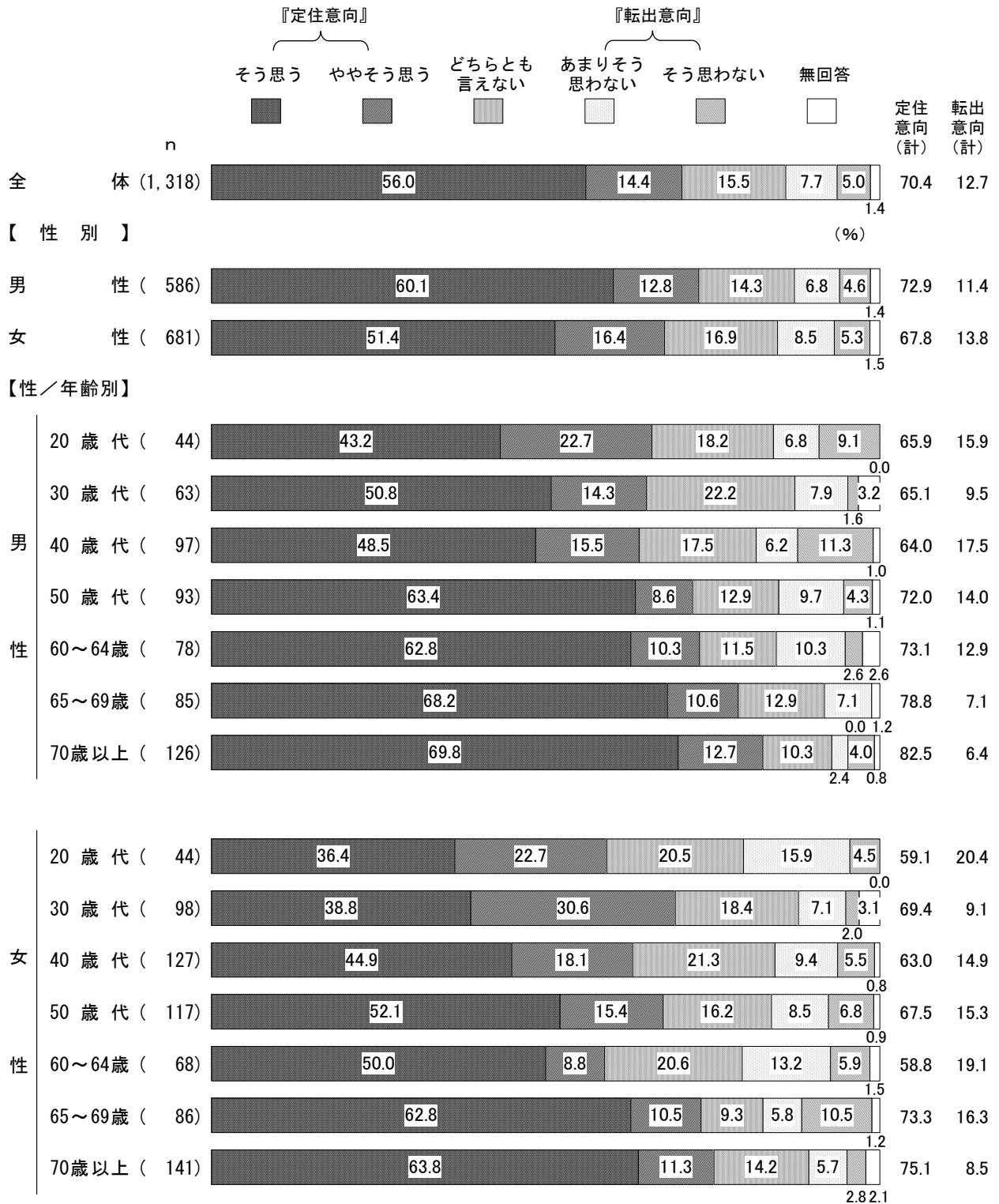
(n=1,318)

全体でみると、「そう思う」(56.0%)と「ややそう思う」(14.4%)の2つを合わせた『定住意向』(70.4%)は7割となっている。一方、「あまりそう思わない」(7.7%)と「そう思わない」(5.0%)の2つを合わせた『転出意向』(12.7%)は1割を超えている。



過去の調査結果と比較すると、『定住意向』が前回(平成25年)より7.3ポイント減少している。一方、「どちらとも言えない」が前回(平成25年)より5.3ポイント増加している。

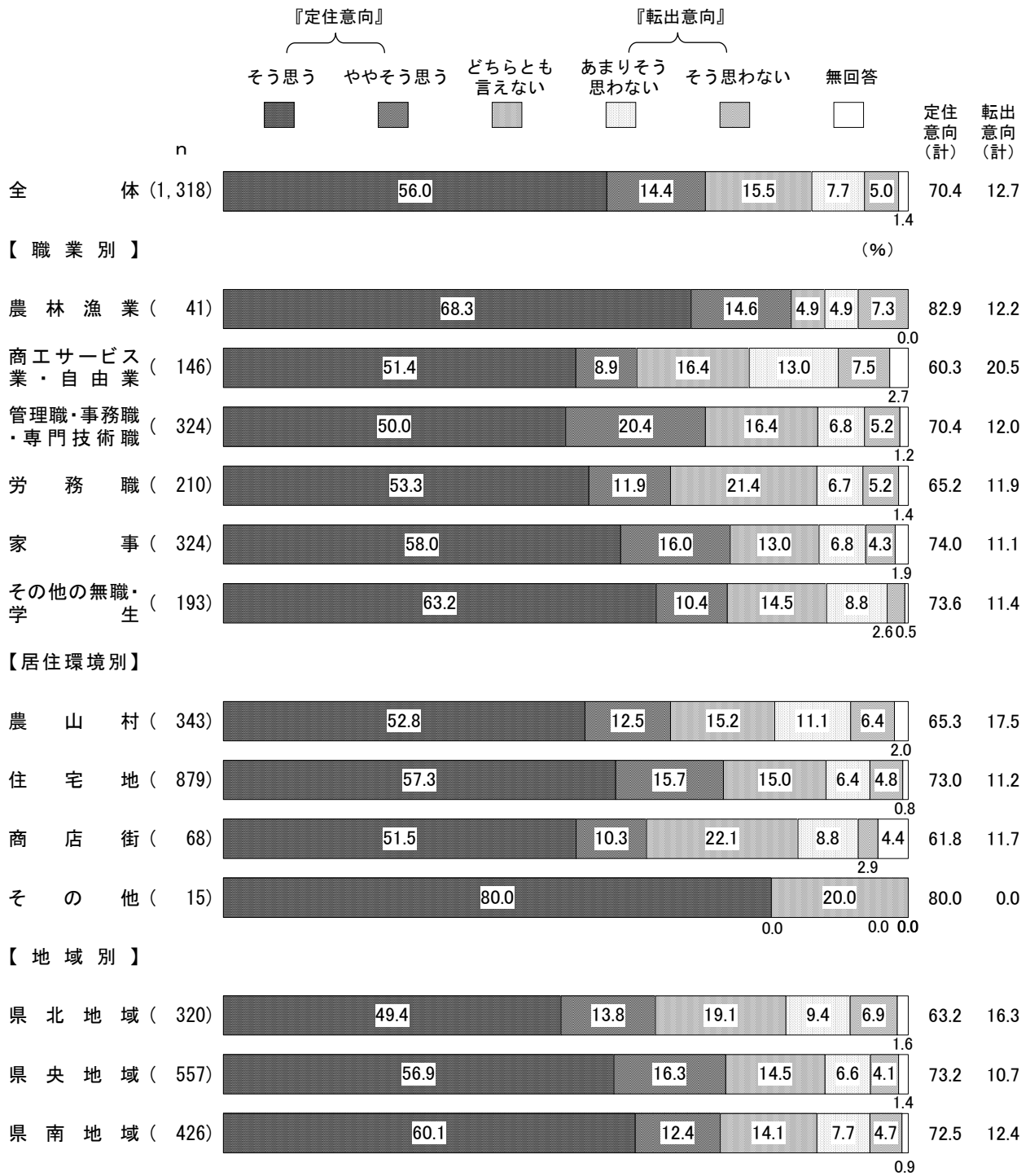
【性別・性／年齢別】



性別で見ると、『定住意向』では〈男性〉(72.9%)が〈女性〉(67.8%)より5.1ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『定住意向』では〈男性70歳以上〉が82.5%、〈男性65~69歳〉が78.8%と高くなっている。『転出意向』では〈女性20歳代〉が20.4%、〈女性60~64歳〉が19.1%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、『定住意向』では〈農林漁業〉が82.9%と高くなっている。『転出意向』では〈商工サービス業・自由業〉が20.5%と高くなっている。

居住環境別でみると、『定住意向』では〈住宅地〉が73.0%と高くなっている。『転出意向』では〈農山村〉が17.5%と高くなっている。

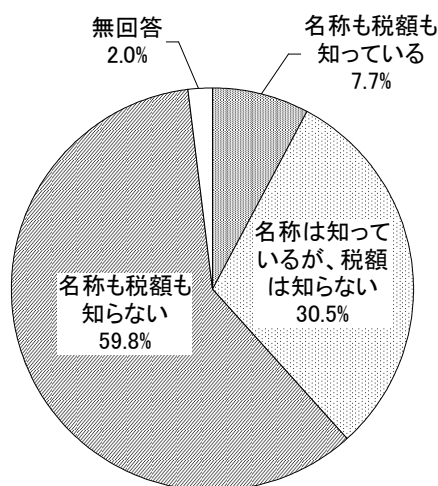
地域別でみると、『転出意向』では〈県北地域〉が16.3%と高くなっている。

(4) 「とちぎの元気な森づくり県民税」について

問9 あなたは、平成20年4月から本県で導入している「とちぎの元気な森づくり県民税」いわゆる森林環境税を知っていますか。次の中から1つ選んでください。

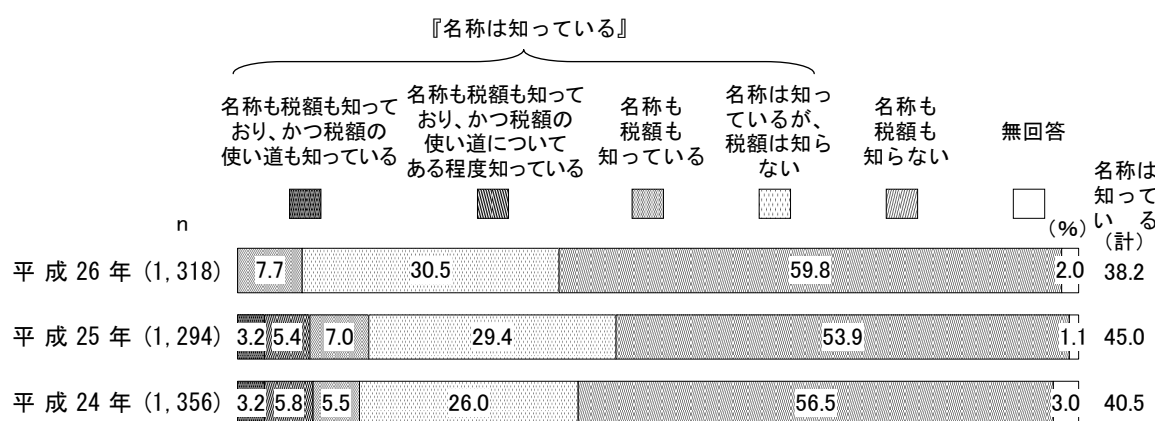
[n=1,318]

1	名称も税額も知っている	7.7
2	名称は知っているが、税額は知らない	30.5
3	名称も税額も知らない	59.8
	(無回答)	2.0



(n=1,318)

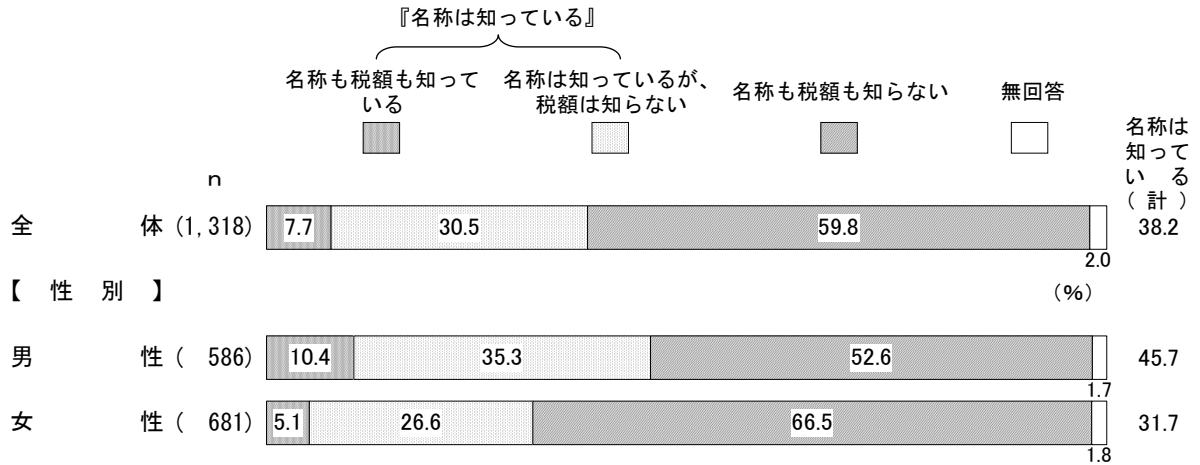
全体で見ると、「名称も税額も知っている」(7.7%)が1割近く、「名称は知っているが、税額は知らない」(30.5%)はほぼ3割となっており、この2つを合わせた『名称は知っている』(38.2%)は4割近くとなっている。一方、「名称も税額も知らない」(59.8%)は6割となっている。



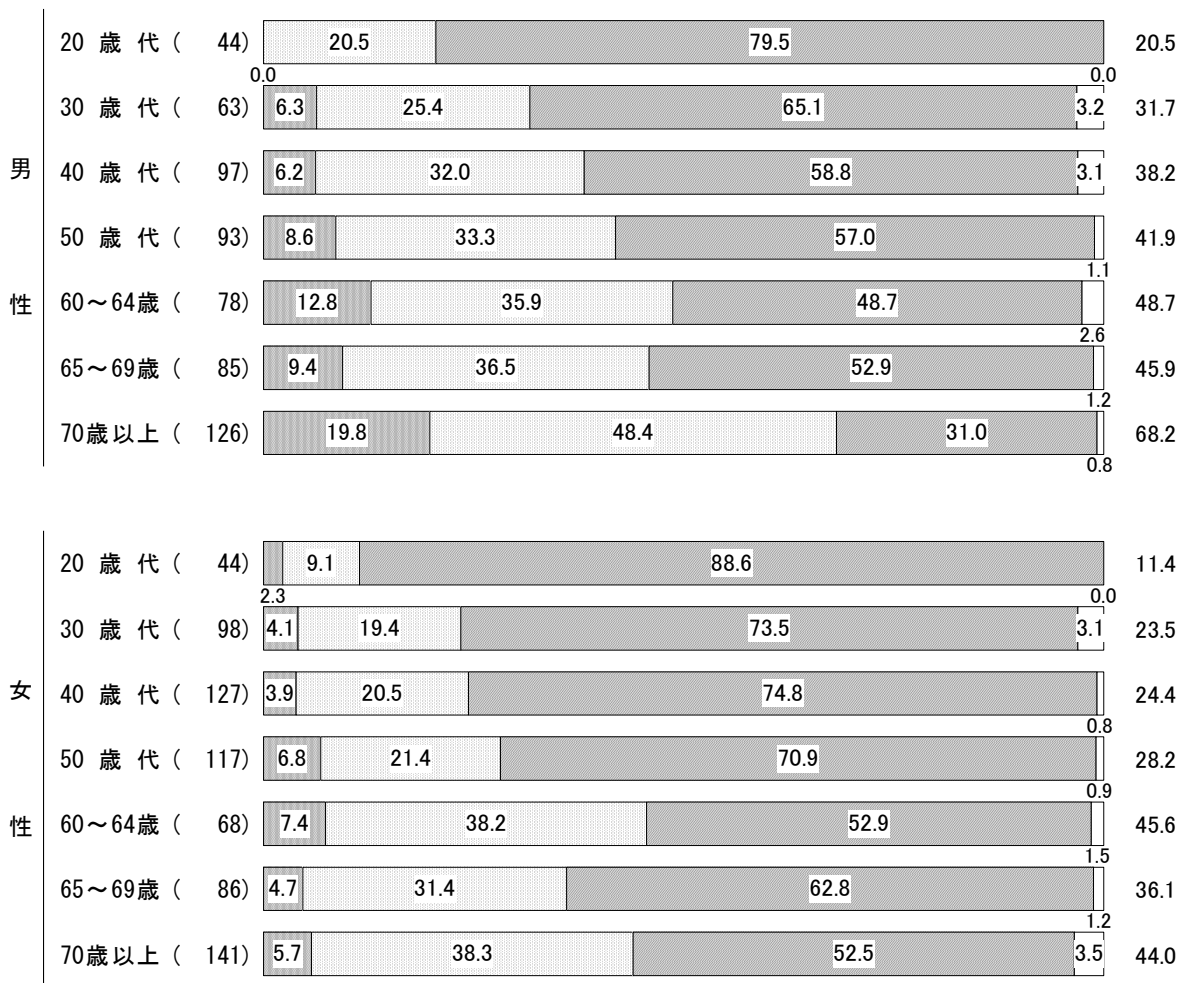
※「名称も税額も知っており、かつ税額の使い道も知っている」と「名称も税額も知っており、かつ税額の使い道についてある程度知っている」はともに平成25年調査まで聞いており、今回調査では選択肢に加えていない。
 ※平成24年・25年調査では、「名称も税額も知っている」は「名称と税額のみ知っている」としていた。

過去の調査結果との比較については、前回(平成25年)以前と選択肢が異なるため参考にとどまるが、「名称も税額も知らない」が前回(平成25年)より5.9ポイント増加している。

[性別・性／年齢別]



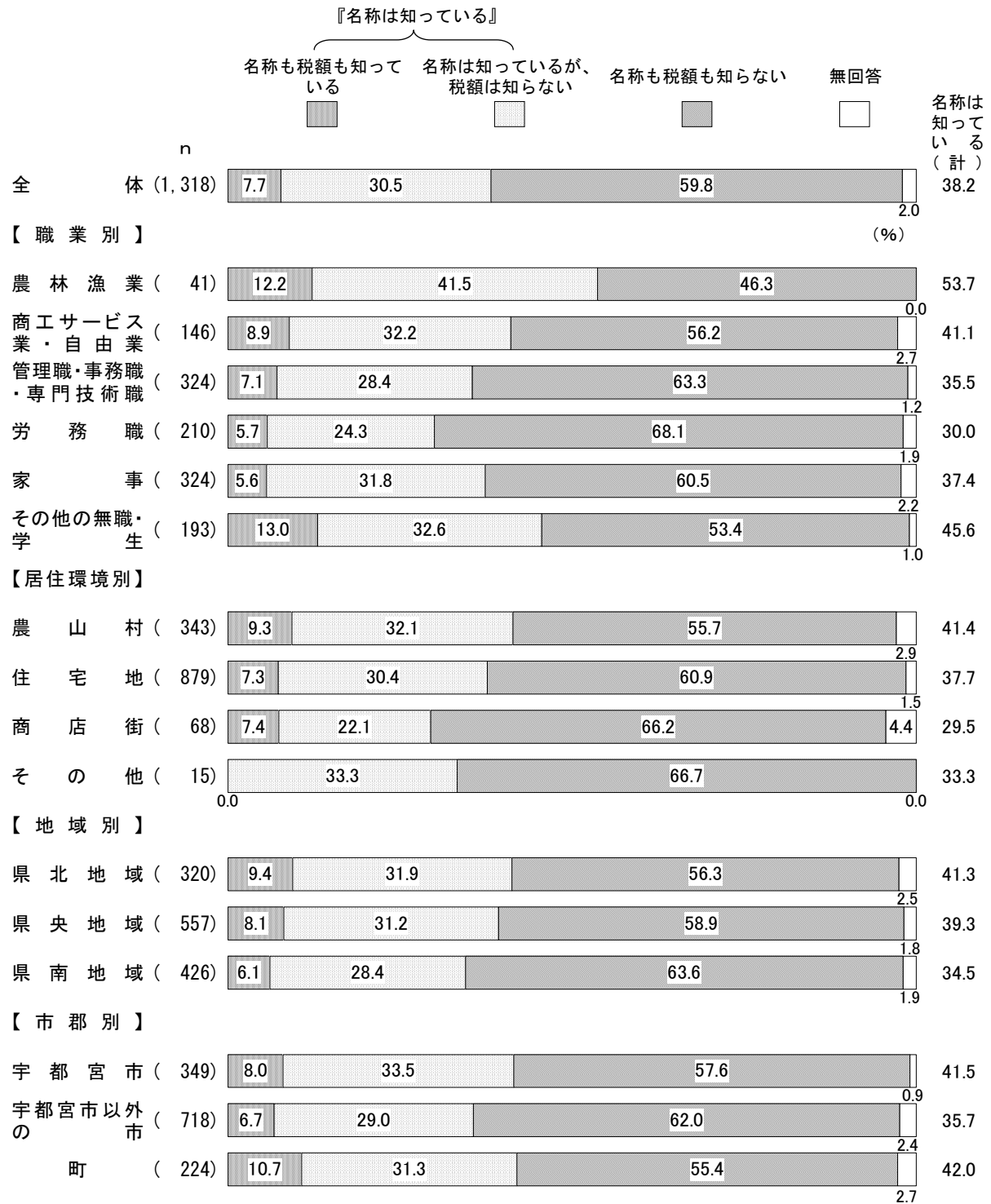
【性／年齢別】



性別で見ると、『名称は知っている』では〈男性〉(45.7%)が〈女性〉(31.7%)より14.0ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『名称は知っている』では〈男性70歳以上〉が68.2%と高くなっている。「名称も税額も知らない」では〈女性20歳代〉が88.6%、〈男性20歳代〉が79.5%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市郡別]



職業別でみると、『名称は知っている』では〈農林漁業〉が53.7%と高くなっている。

居住環境別でみると、『名称は知っている』では〈農山村〉が41.4%と高くなっている。

地域別でみると、『名称は知っている』では〈県北地域〉が41.3%と高くなっている。

市郡別でみると、『名称は知っている』では〈町〉が42.0%、〈宇都宮市〉が41.5%となっており、〈宇都宮市以外の市〉(35.7%)に比べて高くなっている。